

- 問1 戦国時代の1575年、織田信長がそれまでの弓矢や槍に代わり、伝来したばかりの鉄砲を組織的に活用して、当時最強とされた武田勝頼の騎馬隊を打ち破った戦いを何といいますか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
1. 長篠の戦い 2. 川中島の戦い 3. 桶狭間の戦い 4. 関ヶ原の戦い
- 問2 16世紀のドイツにおいて、神学者のルターがローマ教皇庁による「免罪符（贖宥状）」の販売を批判したことをきっかけに始まった運動を何といいますか。 (2022年 愛知県公立入試 類似)
1. 宗教改革 2. ルネサンス 3. 大航海時代 4. 十字軍
- 問3 中国地方の西部に位置する現在の島根県にあり、16世紀に開発された日本を代表する銀山の遺構で、2007年にその歴史的価値が認められて世界文化遺産に登録された場所はどこですか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
1. 足尾銅山 2. 生野銀山 3. 石見銀山 4. 別子銅山
- 問4 豊臣秀吉が全国で行った太閤検地において、それまで地域や領主ごとに異なっていた「ものさし」や「ます」などの単位を全国で統一し、土地の生産力を米の収穫量に換算して表す仕組みが整えられました。この仕組みを何といいますか。 (2020年 香川県公立入試 類似)
1. 年貢 2. 検地帳 3. 石高 4. 貴高
- 問5 1492年にスペイン女王の支援を受け、大西洋を横断して現在の西インド諸島に到達した人物は誰ですか。正しい名称を選択してください。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
1. コロンブス 2. バスコ・ダ・ガマ 3. マゼラン 4. アメリゴ・ヴェスプッチ
- 問6 豊臣秀吉は、太閤検地によって土地の生産力を石高で表し、刀狩によって農民から武器を没収しました。これらの政策を通じて、戦う役割を持つ武士と、農業に従事して年貢を納める百姓の身分の区別を明確にしたことを何といいますか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
1. 守護領国制 2. 班田収授 3. 寄合 4. 兵農分離
- 問7 五層七階の壮大な天守閣を備えた安土城を築き、軍事・政治の両面で拠点とした戦国大名が、室町幕府を滅ぼした後に目指した目標として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 愛媛県公立入試 類似)
1. 鎖国の完成 2. 公武合体の推進 3. 武家諸法度の制定 4. 天下統一
- 問8 15世紀末、ポルトガルのバスコ・ダ・ガマは、アフリカ大陸の南端にある喜望峰を経由してインド西岸に到達する航路を切り開きました。当時、ヨーロッパの人々がこのようにアジアへの海路を求めた背景として、地中海を経由した従来のアジアとの直接取引を独占し、大きな利益を得ていた商人たちの組み合わせとして正しいものを、次から選びなさい。 (2021年 山口県公立入試 類似)
1. イギリス商人とスペイン商人 2. イギリス商人とイタリア商人 3. イスラム商人とスペイン商人 4. イスラム商人とイタリア商人
- 問9 安土桃山時代を象徴する文化遺産である姫路城などの城郭建築や、当時の芸術作品に共通して見られる性質として、正しい組み合わせはどれか。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
1. 天皇と貴族が担い手となった、繊細で優雅な性質 2. 戦国大名と豪商が担い手となった、豪華で力強い性質 3. 都市の町人と農民が担い手となった、写実的で庶民的な性質 4. 武士と僧侶が担い手となった、素朴で静かな性質
- 問10 戦国時代に伝来した鉄砲が当時の社会や軍事に与えた影響について、適切に説明しているものはどれですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
1. 豊臣秀吉による刀狩が全国で完了するまで、鉄砲が農村に普及することとは一切なかった。 2. 鉄砲の威力は限定的であったため、従来の騎馬隊による突撃が引き続き合戦の主役であり続けた。 3. 鉄砲は堺の商人が独占的に所有したため、戦国大名が組織的に合戦で用いることはなかった。 4. 鉄砲の普及により、防御力を高めるために城の造りが変化し、石垣や厚い壁を備えた堅固な城が築かれるようになった。
- 問11 豊臣秀吉が全国統一を進める中で行った「太閤検地」や「刀狩」によって、武士と農民の身分が明確に区別されるようになりました。この社会的な仕組みを何といいますか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
1. 兵農分離 2. 惣村 3. 下剋上 4. 身分開放
- 問12 安土桃山時代、豊臣秀吉は「百姓が余分な武器を持っていると、年貢を怠ったり一揆を企てたりする恐れがある」という考えに基づき、全国の農民から刀、脇差、弓、槍、鉄砲などを没収しました。この政策の名称として適切なものはどれですか。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
1. 惣無事令 2. 刀狩 3. 太閤検地 4. 楽市・楽座
- 問13 南蛮貿易において、日本が中国産の生糸を輸入する際の対価として、大量の「銀」が輸出された経済的な背景を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2021年 山口県公立入試 類似)
1. 当時の日本国内では貨幣として銀を使用することが禁じられており、国外へ出すしかなかったため。 2. 当時の中国（明）では、税を銀で納める制度が普及し、銀の需要が非常に高まっていたため。 3. ポルトガル人が日本産の金や銅の品質を認めず、銀による支払いのみを要求したため。 4. 当時の日本には絹織物を作る技術が全く存在せず、生糸を輸入するために銀を全量放出したため。
- 問14 15世紀末にヴァスコ・ダ・ガマがインドに到達したことをきっかけに、ポルトガルなどのヨーロッパ諸国がアジア貿易に乗り出しました。その後、16世紀半ばの日本に鉄砲が伝えられたことで本格化した「南蛮貿易」について、その状況を説明した文として最も適切なものはどれか。 (2023年 北海道公立入試 類似)
1. 宣教師が来航し、キリスト教の布教活動と密接に結びついて貿易が行われた。 2. 平清盛が兵庫の港を整備し、中国の宋（北宋）との間で盛んに貨幣などを輸入した。 3. 長崎の出島において、オランダや中国（清）との間に限定して貿易が行われた。 4. 幕府から朱印状を与えられた日本の商人が、東南アジア各地へ進出して取引を行った。
- 問15 豊臣秀吉が全国の百姓に対して、刀、脇指（わきざし）、弓、槍、鉄砲などの武器を持つことを禁じ、それらをすべて没収した政策を何といいますか。 (2026年 広島県公立入試 類似)
1. 身分統制令 2. 太閤検地 3. 刀狩 4. 楽市・楽座